

が焦眉の課題である。(伊藤)

3月号の気になる記事

福島の子供が危ない②

生活習慣病は「生まれる前」から始まっている (脳神経科学者 伊藤浩志)

原発事故直後に福島県で増加した低出生体重児。小さな赤ちゃんは、成人後に糖尿病、心臓病、脳梗塞になりやすくなることが分かっている。統合失調症など、精神疾患との関連も指摘されている。生まれたときの体重が少ないと、なぜ、ありとあらゆる病気になりやすくなるのだろうか。そして、実際に、赤ちゃんの身体に異変が起きていたのだから、事故直後の自主避難、母親の不安には、正当な根拠があったことになる。母親の直観はなぜ、胎児の異変を察知できたのか。気になる「なぜ」に迫る。

<資料>

"双葉市"初代市長に吉田栄光県議の名ー 8 町村「単独運営困難」で合併不可避!?(PDF)